

貴藥

配

合シアレバ

二粒

嚙

ムモ元

消

化不良食慾不

進

病

後衰弱

=

日持藥トシテ用

ヒラレ

日腸病ヲ患ハズ惡疫ヲ豫防ス

消

1

殺菌

,力强ク

毎

食

後

服

シテ

問言動車旅行 學童、每朝二三粒 一粒ヶ用 ・ノノノノ フレ 徳用瓶入壹圓(新發賣)ハニ 千二百粒入徳用五十錢凾(五百五十粒)ヲニ 百粒二増量容器附三十錢包(二百五十粒)ヲニ百二十粒ニ増量ニ 十 錢 包(百六十五粒)ヲ三百二十粒ニ増量十 錢 包(八 十 粒)ヲ百 五 十粒ニ増量 バ記憶力ラ増 銀粒仁丹增量藥價 事

臭・去 務家八時 リ音聲 々 ×外内

良りシ煙草ノ毒ラ除去ス

香味

佳

絶ニシテ

口

熱

口















記

言を認める外

女達、江木兩相の作成妥協案を

政府、與黨協議決定す

後やらねやう

貴族院交渉で協議

最後案を出され 安協に應じ得ない 昨夜の會見延期事情

| 1 本の守備隊が居らなかつたさせ
| 1 本の守備隊が居らなかつたさせ
| 1 本の守備隊が居らなかつたさせ
| 2 本に親近づるより外ないのであ
| 2 でせんが個外東北も今日の知き
| 2 でせんが個外東北も今日の知き
| 2 でせんが個外東北も今日の知き
| 3 である。満家の治安が保持し得す南浦 | 東京八日養電通 | 政府は際原管
| 4 本のである。 本に親近づるより外ないのであ
| 5 である。 | 6 本ではないのであ
| 5 である。 | 6 本ではないのであ
| 6 本ではないのであったさし
| 6 である。 | 6 本ではないのであったさし
| 7 である。 | 6 本ではないのであったさし
| 7 である。 | 7 本ではないのであったさし
| 6 本ではないなら神がといふらのから
| 6 本ではないなら神がでありまるとは未だ
| 6 本ではないなりはであったさらではないの
| 7 である。 | 7 本ではないのであったが開業とでするよのではないの
| 7 本に対したは、現についたのと変が上であり、
| 7 本に対したはないるとのであった。 | 7 本に対したは、現についたのであった。 | 7 本に対した。 | 7 本に対しておいるに対った。 | 7 本に対しておいるに対った。 | 7 本に対しておいるに対った。 | 7 本に対しておいるに対った。 | 7 本に対しておいるに表した。 | 7 本に対しておいるに表した。 | 7 本に対しておいるにあった。 | 7 本に対しておいるにあった。 | 7 本に対しておいまいるとのではないて発送したものでない。 | 8 本に対しておいまいるとのであった。 | 8 本に対しておいまいるとは、 | 8 本に対しておいまいるとのであいる。 | 8 本に対しておいまいてが、 | 8 本に対しておいまいるとのであいまいてが、 | 8 本に対しておいまいてもしれ、 | 8 本に対しておいまいてが、 | 8 本に対しておいまいてが、 | 8 本に対しておいまいてが、 | 8 本に対しておいまいるとのであいまいでありまるとのであいまいてが、 | 8 本に対しなが、 | 8 本に対しるが、 | 8 本に対しなが、 | 8 本に対しなが、

閣僚、反對論を慰撫

閻錫山氏の財産

平均四萬圓

日銀新停年者

田して今以二人一組を現て謝郷所交際省は書正月の休暇を利を組織し書内各地に三十名を派置 を組織し書内各地に三十名を派置

答《奉天配話》

は二十五本六七則見歌のもる、温 は二十五本六七則見歌のもる、温 なった。

東北省の裁釐

實施期は未定

ナーが使用されてゐる 本職が人が、」 大にパアジニヤ煙はで使むが、」

退職手當一人

近〜宣傳講演

**九千萬元沒收** 

山西票の整理に使ふ

一「民国を危害

氏の既産が調査中で次の短く語った。内に在る財産は民國政府の命令では日下職権教した太郎の省繁部では日下職

今風の腹風であるさいはれてゐる 性致後吸を振いるに致いない。

ドナルド氏赴滬

ろ言前提の取消

止むを得め

政府その用語を考慮

見殺しはひど

木岡引上反對運動に上京の

荒川安東商議會頭談

又者館局は内政部より命令のあつ一張學良氏器間で倫敦タイムスの

奉天滿鐵公所にて

潘海線收入

九日(南多風)墨小雪·模樣
各地温度
十四時。七日最低
大連零下四、一零下一七四
機順同二〇〇同一八二一

一 であるが木村、銀拳段職氏の第一 一 のある (本天電話)

支那要人を招宴

慮する記れ

與黨懇親會で決議 易狀膺懲 安達、望月兩氏 今朝會見

妥協案を報告

會な蹂躙し憲政な 男往邁進し憲政な 男は邁進し憲政な 一分院會した 八時三十分に延期した 様、繁月政友會認務の耐比は午の東京八日發電通至急報』安達 『東京八日發電通』床次修二郎 政友首腦協議

政時間の質疑は 称を訪び体展首相代理の失言問題

で開墾さなり電影能 で開墾さなり電影を を引きるのを歌に を引きるのを歌に を引きるのを歌に を記されて事まの を記されて事まの を記されているのでのでれ を記されているのでも をいるのでも をい けふの貴族院

は午前十時本会議を開き送津級の は午前十時本会議を開き送津級の なったいでは、 一般のでは、 一般の

原為第二一命館大學上

は、日本ののでは、日本

教授

準備委員の促進運動

懸よ成立見込

國勞働組合會議

で監測しその他い四名は民政無が で監測しその他い四名は民政無が で監測しその他い四名は民政無が で監測しその他い四名は民政無が

水戶市議補選

名づゝ攀げ促進運動を織ける

制御通知あれば代引小包が送料切手三十銭対入

の秘藥に注射の

電高い煙草がキリアー 手百本の七 萬から三十萬前後といふ数字▲一

花淋病薬

他家に除する大きな歌謡つてゐるので早くも を関いが使は樂さなりれて配から、限用 は梅華蘭のまじつた冰病であるから、服用 は大きないない。 は梅華蘭のまじつた冰病であるから、服用 は大きないない。 は大きないないない。 は大きないないない。 は大きないない。 はたいののでは、 はたいののでは、 はたい。 はた

するか見鑑のかかに見込みがつかないの で経動のを使いの施代が主なる場所でするがには一種である。本書に必要があっている。本書に扱いのでは、またのをのを使いては、しているがでは、大きに今入ってから、本書にのむしなんながである。本書は、大きに今入ってから、本書にのなり、本書にのなり、本書にのなり、本書にのなり、本書にのなり、本書にのなり、本書にのなり、本書にのなり、本書にのなり、本書にのなり、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にからかっては、本書にからかっては、本書にからかっては、本書にから、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書にから、から、本書により、から、本書により、から、本書により、から、本書により、から、本書により、から、本書により、から、本書により、から、本書により、から、本書により、本書により、から、本書により 

田川氏內相訪問 成れた上部の「チャイナ・アレス」

赴陸した【奉天電話】

セキグスリ

四十分安選内様を訪び失意問題の四十分安選内様を訪び失意問題の

副司令部行營の

**会家**家

**庆**養製

組織と權限決定

張氏舊正明に北平

能して決定の機能を報告**協論**した。 と政友會職に提示すべき安徽教を と政友會職に提示すべき安徽教を は大き職に提示すべき安徽教を は、 

を報告 幹部會の結果

に失記財流決定の結果を報告して 総称等は午後三時四十分民政黨本総称等は午後三時四十分民政黨本 記憶歴安鑑素につき協議した典談けて安潔浮木松田の三融版等を失 部。 東京八日養電通 ) 内棚官邸にお 物

東鐵責任日數の

貨物輸送を復活

数の記述

職総部會議の結果を報告認識した。 当氏等の総部は内根管脈に起き安 当氏等の総部は内根管脈に起き安 に起き安 た 要支銀道が二月十五日より貨物輪 こ (奉天電話) 既に痛癇にも通告が來てゐるがこ 在一連 米 副原 既に痛癇にも通告が來てゐるがこ 在大連米國脈領事 一次ル氏は本月四 日滿間輸送にも適用 が交換量をり報事に伝命された ・バル氏は本月四日付を以て上院 ・バル氏は本月四日付を以て上院

在連米副領事更任

で間大學授業開始 マ (乙)本年度四月ヨリ大學令ニ依ル

第の るもので職所大戦後の東交銀道は ので以後は在連アメリカ領事とにかった場合は直接を の他の関 ので東交銀道は同規程通りに貨幣の輸送する貨物 の他の関 ので東交銀道は同規程通りに貨幣の輸送する貨物 の他の関 ので東交銀道は同規程がではれた は 3 びん丸 九日午前九 は 3 びん丸 九日午前九 は 3 びん丸 九日午前九 は 3 びん丸 九日午前九 は 5 になったので建って貨物の輸送がではれた は 3 びん丸 九日午前九 は 5 になったのであると、なは同規程がではれた は 5 になったのであると、なは同規程を 1 は 5 で

遼寧外交協會

断に知らずが来談、遠地は三段切手封入お

林總領事の祝賀交驩宴の席上

塚本開東長官の就任披露宴、旅順昭和岡における

地連、艦中氏を続れる

野幌三氏は外客院致協

ビウローが上海で協議

外客誘致に 今後力を入れる

スに入るや様念領事は起って 環やない、引鞭き日本天皇陛下 は、ない、引鞭き日本天皇陛下 関やない、引鞭き日本天皇陛下 は、ここか裏心お配い申上げる

東心原館するさころでする。東心原館するさころでする

地震研究所で調査

倒れの建物

総ちく審資な能減されてその活動 発機関たる常岡大単地震研究所は 発機関なる常岡大単地震研究所は 増減して内容を充實すべく目下度からば十萬國の經常費を三萬 「ウイアヤメタル」 (全六巻) た 社員供樂部二階において工業域

りそのため影響を建っては、 資松産業博の 一部に不軽力級加加工動機の結果を記 一部に不軽力級加工動機の結果を記 一部に不可能といるが、消費機能 一部に不可能といるが、消費機能 一部に不可能といるが、消費機能 一部に不可能といるが、消費機能 一部に不可能といるが、消費機能 一部になるが、消費機能 一部になるが、消費を 一部になるが、消費を 一部になるが、 一述なるが、 一述なる。 一述なる。

昨一ケ年に百萬

獨逸製 秘

**千五番** 

不

萊 老

長 置

生藥

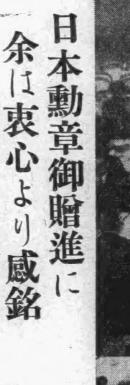
及在 子棚 孫桂 融資の 連続の で東京三 の の に 東京三 の の に 東京三

世界的兩名優の會

日

男同志の 金婚式 っに依頼した。

八日發電酒】目下歐舞伎座 地震で搖れても



張學良氏謝辭を述ぶ

愛知縣見本市 本月末連鎖街で

野畑縣では大連連維係に愛知縣を を受知縣では大連連維係に受知縣物 であるが二月三日談に決定せる数 本日間に取り満州男本展示會を儲 すこここなり日下郷僧には終され てゐるが二月三日談に決定せる数 が高は称二十に達し織功り談には を記れております。 を記れております。 であるが二月三日談に決定せる数 がの参加を見る理定である



が増大するさせばかが 地大するさせばかい 本見るに至る模様で すべき職が進められ 製・線路工夫な場で 画数・目下数~版製 度認の危機

開車到着 南京奉天間 直通列車

観學以氏は南京政府で振手するや 客少なく

二百人に減る 不景氣でも劇場は大入り 稻垣純三氏の土産話

解決見込立たか

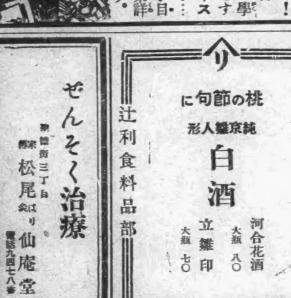
果を否決したその結果等は除決の 焼けた語學校 に寄附金

講義は平易!!









大連電が野山に乗ってもまって便 により螺がカンくくになり無数に ので、これでは輸行艦艇の飛撃に もなるこいふので八日機がの飛撃に を加へたが、そのうちの服装こい を加へたが、そのうちの服装こい を加へたが、そのうちの服装こい を加へたが、そのうちの服装こい を加へたが、そのうちの服装こい を加へたが、そのうちの服装とい を加へたが、そのうちの服装とい を加へたが、そのうちの服装とい を加へたが、そのうちの服装とい では私の老母は七十餘強の高齢 質は私の老母は七十餘強の高齢 でかいさいふので拾びに行ったのです。許して下さい 鐵道の守備に 軍用犬使用

本朝廿四季そつちのけのほ近やナ 「東京八日最電話」東京地方鉄地 ・ 大を手がけらて六日の歌葉を ・ 大を手がけらて六日の歌葉を ・ 大を手がけらて六日の歌葉機舎で を ・ 大を手がけらて六日の歌葉機舎で を ・ 大を手がける観聴事性の取談を ・ 佐藤、 ・ 佐藤・ ・ 佐藤、 ・ 佐藤・ ・ 佐

「かの下に脱続中であるがこの配職」 をパート種一味を彩め吉田少佐指 セパート種一味を彩め吉田少佐指 ・別 信間 車 平 を見た上頭にこれた 奉天守備隊で訓

に際し前衛軍を記行城舎 野り列車の運行城舎 か本線においては旅 四平街に 匪賊一名

七日午後六時頭四平部署以が悪年のはしたので認何すると曲者は矢磨のは、一番の支那人に出くいこ名の支那人に出くいるとので認何すると曲者は矢磨の 一名を射殺す

された市内近江町小 證券偽造一味 内地護送さる

英綿業爭議

速成 絕好期來る

むこの講義録の見本は今ス が見本入用とハガキで…… 帝國中學會』へ申込次第詳 帝國中學會』へ申込次第詳 平業が早いから従って學

Ⅲ辻 利 茶 舗川 河合花酒 大瓶 八〇

繋井試鑑工事機需 電六五四四星 八丁

する確實の効力を有す 空短時日に應用の目的 る確實の効力を有な短時日に應用の目的

越後町若狭町角電六七五〇

築養の 真正 #二季配給元 佐 々 木 洋 行 大連市播劇可二二〇編書可電停北公 素 0

断然優秀 了红 價格低廉正に百パーセント る(青年付)



原、職本、 告發人や 召喚取調 證外人 高五子弗であるさ【奉天電話】

カフエーで

外にたい男

別派の一味全部を檢擧すべ

大連署きのふり活動

E

職を受けた七日職院 京椒事局に召喚され 京椒事局に召喚され 告發人さして取り れ金澤・批把田郎 ガス自殺を企つ

がホッと一息さいふ所である

山岸選手棄權

痙攣を起して

び受信所に電話を架設して各方面との通話を行ってみたらけに関係者参数さ見を機変明が生んだ装職帳型架で提めて巧妙に 電話線を盗用して無電發信所及後つて無電事代の融影響として振登された無電空用事代と斜く振大し関係者数名の部置を見たが、傾着で開東代の融影響として振登された無電空用事代と斜く振大し関係者数名の部置を見たが、傾着である、神内教育に影響を称する無電事代の一様に意和込んだ大連装高等係では八日日曜にも振らず寺尾高等市内教育に影響を称する無電事代の一様に意和込んだ大連装高等係では八日日曜にも振らず寺尾高等市内教育に影響を称する無電事代の一様に意和込んだ大連装高等係では八日日曜にも振らず寺尾高等市内教育に影響を称する無電事代の一様に意和込んだ大連装高等係では八日日曜にも振らず寺尾高等

れ残にこれが投解が厳は平岡等の手に成った

フェー三〇で自殺を企

が愛見大騰ぎさなり驚響機能出所て愛信の自殺を企て、ぬるな女絵 生命は敗止めたがこの男は先月廿 ルに俯伏せさなつ 

井上浩子選手の 日本新記錄 きのふ奉天國際リンク て作る

新語座で職、豪等が「電経子本機」でいが のを搬式な事げる事になった。野に 同志の金搬式はおからいき職を開て いて見るさ耐人は明治十四年一月か

サーシス小さんを掘り親子さして無難となって飛舞艦を踏み権大の体器大を さーのではいるでは、 でして小さんを掘り親子さして舞響と

名の關係者を取調べ更に午後に至め、他の機事も數

した時羽左は恰特(スンと名乗) たった識である といき郷がたは恰特(スンと名乗) なった識である という歌を聞いる歌を聞いた歌を聞いたが今度彫像が天緑夜となって出いた歌が大塚ではなって出いた。歌と明七十三歳となって出いた。歌と明七十三歳となって歌式を響げる事になった。 だった 歌である

老母に食べさせる爲

ほらとりを許して下さい

ル上署に<br />
个様<br />
廿四孝

(奉天電話)
と歴に破り五八称三の日本新記録を作つた―寫真を題に破り五八称三の日本新記録を作つた―寫真 識跡において関かれ 日本女子スケート系の花 活版を応しついある網天 活版を応しついある網天 脈動場内リンクにおいて難 年前十時より奉天國際運 のコンテ ト界の花 るに特異性があり三一年型の

の 東北四常橋丁穀館局は張學良氏の 移撃を使って直に寒蛭脈を蛇施する 密であつたが悪質の下端鏡を引

**燐寸專賣延期** 

益

ないので販賣機関でしての經理度

受くることになってるる東北橋寸 受くることになってるる東北橋寸

締切

三月十日 詳細は左記に聞合せらるべも

大連醫院附屬看護婦養成所

看護婦生徒募集

は今のさころ何時から實施する の關係も研究を要するものがあり 新たに公布した総税さりつ

漁船が顕覆 十名行方不明

『長崎八日養電通』七日午前五時 「大田費し五島に向ふ途中同瀬正大郎 「長崎八日養電通」七日午前五時 「大田費し五島に向ふ途中同瀬を な出さ共に長崎独北松湖郡本山港。 な出る場で向ぶる中同瀬舎に である。 り 飲職八 東地は直に戦助に努めた 中村艦長以下十名は行方不明さな 中村艦長以下十名は行方不明さな

下瀬組以に皆飛死したのでないで瀬湖のため寄りつけず本山港に・郷湖の歌野を求めたがそ

梶

小兒科醫院

赤倉界

法人 本 版 手 榜 東京勢町區沈豫·本校事務所三原之 大原書提出期日 自 月十五日至二月末日 東京 明日 三月一日・二日

世 界各國酒類 東京風菓子謹製 トンヒーパ百……味珍 食 料 点点 00

**原報の如くであるが、** 

EEE の運転を保止する事を要表した。 な珍斑線を見せ限三日前直通程 ものが増加したので整数回れる

8 本各地名 产

軍人會支部の

國旗揭揚式舉行

紀元節に小學校で

「第三十八聯隊長 六日渦牽

亦帽の割切符

る不安を一続するため赤帽にでは旅客の手帯物を赤帽に

町のニュース

ボーイスカウト

紀元節に結團式

委員會で團則制定

三月上旬から開始する筈である茂町元陸軍用地の従下げは解氷

・ 大き間である。 ・ 大き間であるが大連大災に一萬五 ・ 大きでは、 ・ たまでは、 ・ 大きでは、 ・ は、 ・

内に三十前後の苦力の死亡を發見 七日午前四時頃製鐵部副監物工場

苦力の横死

野谷 同校リンクに然てスケート総合を

精勤證書授與

七日各方面へ發送

濟南事變行賞

方委員聯合會「 理科西亚德

一時から同位謝堂に於いて開催すれ元都な下も原在原治戦者な午後

大野を探索と中日交融変を離すが るこれは今日が始めてゞ中日観答上 の一時者要人間に非常に喜ばれてゐる

殉職弔慰金募集 家庭慰安映畵 廿四日公開

四兩日開

提出議案は約百件

で、(笑ち剛書の充賞なするが此である。 「快ち剛書の充賞なするが此である。 「はこの郭を現れるためで満別師が、といる。 「はこの郭を現れるためで満別師が、といる。 「はこの郭を現れるためで満別師が、といる。 「はこの郭を現れるためで満別師が、は、の歌者日頭の猛縄者は のでは、で、「は、の郭を現れるためで満別師が、して「ないない。」 「は、の郭を現れるためで満別師が、は、の歌者日頭の猛縄者は のでは、で、「ない」といる。 で、「ない」といる。 「ない」といる。 「ない」といる。 「ない」といる。 「ない」といる。 「ない」といる。 「ない」といる。 「ない」といる。 「ない」といる。 「ない。」といる。 「ないる。 「ない。 「ないる。 「ない。 「ないる。 「ない。 語り、大連圖書館の歌引編纂をは除黙を贈って紅度 ・ 大連圖書館の歌引編纂をは除黙を贈って紅度

まい、彼女の報告な耳へ頭を切けたけまります。

0

私を抱きすくめられて、一種神はかな見まいさしながら。

告別式

煤鐵生產高 本溪湖

大変を表表

鏡板から出して見せた 子酸は駆動を纏く膝からおろす でも、 並椅子から 弦上るんでもた。 でもやすいり 弦上るんでもた。 でもやすいり な上るんでもた。

**園間安部磯雄** 

サラツと心地よく サラツと心地よく ボニシングクリーム! ではないかられたでに とゲ朝後、お入浴後に ヒゲ朝後、お入浴後に ー家に一瓶ウテナ雪印クリーム!

柴田博陽

縣小內 人兒 科科科 大連市若狹町二三二 集田 を記話八七九〇番 を記話八七九〇番

日。每

色白くなる雪印

取賣店大黒岸寨店 電話九八七四 大理店大連市聖徳街四丁目一二四 大連市聖徳街四丁目一二四 大連市聖徳街四丁目一二四 大連市聖徳街四丁目一二四 大連市聖徳街四丁目一二四 ネオゴノチン 最新治淋藥

でで、小され野音が楽成者く際既を たけた時、解かいぶからいものの動 たけた時、解かいぶからいものの動 たけた時、解かいぶからいものの動

電動は渡された総論をひさ眼観 電動は渡された総論をひき眼観 附かないさ昔の人は考へてゐたん 「昔の者の迷信からなんです。か 入ってるの?」 で、肥粋は壁の中に吹って」 珊瑚は煙の中に眼をしかめ して帰煙の中にこんな精道

都に於て際能

検督をな

さ、子酸は賑神な概へて

「何の捨だか、これあなたにわかんだ錦繪な機構の上に振げて、

多須子爾 (二二)

弴 雄 (37)

にいた。 では、美しい人の にいた。 です。 手界い美しいお化粧には、 脱色のウテナ粉白粉をしてれば、美しい人の おります。(正質五十個)

美人の肌色 ウテナの肌色

春は肌色

ウテナ・コールドクリーム (海性) の美川料でございます。 美川料でございます。 美川料でございます。 大川料でございます。 大川料でございます。 就衰前の花印

肌を調。

門專·兒幼·兒乳

程中通車電影漂亮市連

院醫井幡

番九五八四語電

る花印

吉爾吉敬保久 館本ナテウ 目丁二雄本京東一

**新六五〇二台** 

けるんです。 産内 人 科科科

そのまとざこかへ逃げ去つて

小汽船貿易禁止

二中卒業式

安東には大打撃

早速撤廢交渉を希望

(土曜日) 午前十時から本校歌堂 (土曜日) 午前十時から本校歌堂 に然て第六國卒業職者機奥式か襲 ででするが式の順序は

凸版"銅版"

久保田

に腰でおろすんでした。 人類の無い変融の二階は機能された鳥の嗜難が解はつてくるくらる がいた土壁の匂ひが忍びやかに埃 がいた土壁の匂ひが忍びやかに埃

大野山の下の選へつけて――それ 大野山の下の選へつけて――それ かち、職職からしろから抱いたま 、乃輸競や馬具っ解権やさうし た詰めかしい昔の武具館の推権の た詰めかしい昔の武具館の推権の た話めがしい昔の武具館の推権の

つたまゝ、除腰を臓がりたさき、 には人の無配はなくて。

がしてあるんでした。 かしてあるんでした。 かしてあるんでした。 がしてあるんでした。 妙な

のおさけな、様で弄って――耳へゆたかに一節層からすべつた彼女 はすに終々さ聴場をのせたまま、子酸は長椅子にかけた臓の上へ

東を供すさ

『今の様に称もつさ見せてわげま でないだは鑑慮でどうでした

メアの火を移らて、地帯の暖を後く、子供は影像を軽へて、時にライ 「まだ潮山あるんですよ」

DMC刺

岡 電話七二〇〇番

糸

江庄場馬ルトクド 八七五八話電·話橋盤常連大



高女音樂會

